

2023年度 年報



2024年3月

公益財団法人群馬県産業支援機構上海代表処
(群馬県上海事務所)

■沿革

群馬県では、「観光誘客の促進」「農畜産物等の販路拡大」「企業のビジネス展開支援」を三本柱として、2012（平成24）年3月、「東アジアの活力を取り込むための経済戦略」として群馬県国際戦略を策定し、2013（平成25）年4月、戦略推進のための海外拠点として上海事務所を設置した。当事務所は、中国（香港・マカオを含む）において本県経済の地位を高めるため、観光誘客、県産品販路拡大、県内企業のビジネス展開支援、本県情報の発信の4つを主な業務として活動を開始した。2014（平成26）年度から、要請があった場合には、台湾においても、観光プロモーションや旅行会社訪問、物産展出展や商談会参加等を行うようになった。

2020（令和2）年12月、新型コロナウイルス感染症の影響により、外交の基礎となる海外との往来が制限される中、これまでの国際戦略に基づく取組が困難になったことから、ニューノーマルの世界の中で、ハイレベルな人脈構築を目指す「地域外交の基本方針」を踏まえ、事務所運営方針の転換を図ることとなった。具体的には、①世界を見据えた上海市との関係強化、②ハイレベルな人脈構築、③新たな富を生み出すチャンスを含む の3つのミッションが与えられた。

【3つのミッションと7つの取組】

ミッション1 世界を見据えた上海市との関係強化

- ①上海市との姉妹（友好）都市協定に向けたトップ会談の実現
- ②中国国内の高等教育機関等へのアプローチ

ミッション2 ハイレベルな人脈構築

- ③党有力者および地方政府の調査・研究
- ④外交候補リストの作成
- ⑤外交候補先とのコネクション構築

ミッション3 新たな富を生み出すチャンスを含む

- ⑥進出県内企業や近隣自治体との連携強化
- ⑦現地情報の収集と効果的な情報発信

■活動状況

I 事務所利用状況

内 容	件 数	備 考
訪問件数	145	小売業者、旅行会社、県内企業 他
来所件数	101	県内企業、地方政府 他
(利用人数)	(379)	

II 業務別の状況

1 新たな取組方針に基づく3つのミッション

(1) 現状

3つのミッションを達成するために、①上海市との友好交流事業推進 ②さまざまな機会をとらえた多方面での人脈形成 ③関係者・関係機関との連携 に取り組んでいる。

○ 活動の重点方針

上海市との友好関係をより一層強化しながら、同市との友好交流事業を継続するとともに、新たにリアルの交流を開始する。

(2) 個別の業務内容

① 世界を見据えた上海市との関係強化

■上海市へのアプローチ

上海市主催の視察会等に積極的に参加し、本県のプレゼンスを高める取組を継続した。

そして10月25日には、本県と上海市とのリアル交流の第一弾が実現し、上海市の視察団が初めて群馬県庁を訪問した。

訪問したのは、上海市12345市民コールセンター管理弁公室の職員6人。同センターは、上海市政府が市民に様々なサービスを提供するために開設している電話ホットラインで、日本語ができるボランティアを動員して日本語で要望等を受け付けるようにもしている。

当日は当所立会いのもと、県民活動支援・広聴課で双方の広聴事業の説明及び質疑応答を行った後、32階の動画・放送スタジオtsulunoyやNETSUGENの見学を行った。

なお、前日に友好都市の横浜市で同様の視察を行った視察団からは、「横浜市と対応が全然違う。心のこもったおもてなしに感動した。」との声が聞かれた。

また3月13日には、青少年交流の一環として昨年度開始した、県立尾瀬高校と上海市実験学校東灘高中との交流の第2回目を、オンラインで実施した。

今回、尾瀬高校の生徒たちは「The Problems Caused by Japanese Deer ~4 actions~」「Exploring the Wildlife in Oze area」と題したプレゼンテーションを、また東灘高校の生徒たちは、「Wetlands and Birds in Chongming

Dongtan)「Carbon Accounting」と題したプレゼンテーションを、それぞれ英語で行った。

両校の生徒たちはお互いの発表内容に熱心に耳を傾け、その後の「質疑応答・自由交流」のセッションでは大きな笑い声が湧き上がるなど、終始和やかな雰囲気の中に交流は終了した。

東灘高校の袁校長は講評の中で、「今後は相互訪問を実施して、お互いの環境保全の取り組みなどについて理解をさらに深めましょう」と述べた。

また3月23日から26日にかけて、(公財)群馬県産業支援機構と県庁地域外交課の職員3人が来海した。

JETRO上海事務所長から「中国経済の現状と今後の見通し」について、群馬銀行上海駐在員事務所首席代表から「県内進出企業の動向」についてそれぞれ説明を受けたほか、上海群馬県人会との情報交換、事務所経理の監査等が行われた。

同日午後から翌25日にかけては、現在友好交流の舞台となっている崇明島を訪問。上実東灘高校のほか環境保護に関する施設等(※)を見学した。

最終日の26日には、上海市甘泉外国語中学を訪問して穆教諭と意見交換を行い、校内見学を行った。

(※) 崇明島訪問施設等

長興島郊野公園(含前小桔農園、上海衛智馬術クラブ)、上海市水生野生動物保護研究センター、東灘鳥類国家自然保護区

なお、上海市外事弁公室からは、「2023 RCEP 地方政府・友好都市協力(黄山)フォーラム」(安徽省黄山市・6月)及び「中国人民政治協商會議上海市委員会」(上海市・11月)へ招聘されるなど、当所との関係が進展している。

特に後者は、駐上海の各国総領事らが名を連ねる中、本県は日本から唯一の地方自治体として「友城代表(Representatives of Sister-Cities)」の枠で出席した。



群馬県と上海市のリアル交流が実現
(上海市12345市民コールセンター管理弁公室が本県を視察)



尾瀬高校と上海市実験学校東灘高中との第2回オンライン交流

■中国高等教育機関との関係強化

中国最古の名門大学である上海交通大学の「外国語学院日本研究中心」と連携して、同学と本県大学（県立女子大学及び高崎経済大学）との間で学生サークル間交流を開始した。

また、本県への留学経験者について、これまでに構築した人脈を駆使して6名を発掘した（累計11名）。引き続き、その増加に取り組みながらネットワーク化を進め、情報発信や販路開拓、人脈開拓などの分野で、当事務所への協力を促していく。

さらに7月には、上海市甘泉外国語中学の生徒19名と引率教員2名の計21名が本県を訪問し、県立中央中等教育学校の生徒と交流した。

3月22日、上海市甘泉外国語中学主催の「群馬杯日本語プレゼンテーション大会」に審査員として出席したほか、29日には、同校の「上海市甘泉外国語中学校桜祭り閉会式」に参加し、校庭に設置された群馬県特設コーナーで本県の観光PRを実施した。



上海市甘泉外国語中学と県立中央中等教育学校の生徒が交流

② ハイレベルな人脈構築

■調査研究

市・省委トップ3について、引き続き調査を行った。

③ 新たな富を生み出すチャンスを掴む

■県内進出企業との連携

地元地銀と合同で、県内進出企業訪問及び情報交換を行った。

また、中国進出や販路拡大を検討する県内企業等を対象として、JETRO及び地元地銀と合同で「中国オンラインセミナー 経済の最新動向/越境EC」を開催した（後述）。

■他自治体との連携

重慶市で開催された「第3回中国温泉産業博覧会」（重慶市文化和旅游発展委員会等主催）に大分県とともに出展し、本県の温泉の魅力をPRした。

■情報収集発信

上海を中心とした中国のトレンド等を県職員向けに伝えるための「上海・中国流行報告」を2回発行した。

また、公式ホームページに毎月2回活動報告を掲載したほか、現在中国で人気のSNS・小紅書のアカウントを新規に開設し、情報発信の多角化に取り組んだ。

(3) 今後に向けた課題と方策

上海市がリアルの交流に前向きであることから、友好交流事業を軌道にのせつつ関係強化を図りながら、トップ外交の準備を進める。

2 観光誘客の推進

(1) 現状

中国からの訪日外客数は、2020～2022年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により激減したが、2023年には再び増加に転じた。

■中国人訪日外客数（ビジネス客／親族訪問客等含む）（JNTO）（人）

年	2023	2022	2021	2020	2019	2018
年計	2,425,157	189,125	42,239	1,069,256	9,594,394	8,380,034

■群馬県での中国人宿泊者数（観光庁 宿泊旅行統計）（人）

年	2023 _(速報値)	2022	2021	2020	2019	2018
年計	18,560	3,030	2,610	9,810	36,950	32,370

日本政府観光局(JNTO)によると、2023年の年間訪日外客数は25,066千人となった。4

月の水際措置撤廃以降、訪日外客数は右肩上がり急回復を遂げ、単月では10月に初めて2019年同月比100%を超えており、年間累計では2019年比78.6%と8割程度まで回復が進んだ。

2022年3月に策定された第4次観光立国推進基本計画では、3つの柱「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」が示されるとともに、旅行消費額・地方部宿泊数等に関する新たな政府目標が掲げられているところ、JNTOでは、「これらの実現に向けて市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく」としている。

○ 活動の重点方針

2023年度は、①JNTOや自治体国際化協会北京事務所との連携 ②SNSによる知名度・認知度の向上 ③旅行会社との関係の再構築 との方針で取り組んだ。

(2) 個別の業務内容

①観光イベントへの出展等

日本をテーマにした各種イベント等に出展し、一般旅行者へ向けて本県の観光PRを行った。

また、他の業務の中で観光PRができるときには、パンフレットを用いて可能な限りPRすることに努めた。

更に、台南市政府から招待を受けた「2024台湾ランタンフェスティバル開幕式」に出席したほか、観光魅力創出課および（公財）群馬県観光物産国際協会のセールスプロモーションに同行し、香港や上海市内の旅行社を訪問。関係構築と情報交換を実施した。

- ・「高崎だるま販売＋観光PR」（6月 北京市）
- ・「北京国際旅游博覧会（BITE2023）」（6月 北京市）
- ・「2023 第八届中国西部旅游産業博覧会」（6～7月 重慶市）
- ・JTB ジャパンブランド（7月 武漢市）
- ・2023 中日韓産業協力発展フォーラム等（10月 山東省濰坊市）
- ・江蘇省日本語スピーチコンテスト（10月 江蘇省常州市）
- ・2023 中国義烏輸入商品博覧会（11月 浙江省義烏市）
- ・中国市場におけるBtoCイベント（11月 陝西省西安市）
- ・垂秀夫大使夫妻離任レセプション等（11月 北京市）



重慶総領事館の高田総領事が本県ブースを訪れ激励
(2023第八届中国西部旅游産業博覧会)

②SNS による情報発信

中国人が情報収集に多用している SNS、微博（ウェイボ）と微信（ウェイシン／WeChat）により、観光情報発信を積極的に行った。

また、特に女性に人気がある SNS・小紅書のアカウントを新規に取得し、情報発信の多角化に取り組んだ。

③旅行会社との関係再構築

コロナ禍の影響で途切れていた旅行会社との関係を、再度構築することに注力した。

【観光誘客活動実績】

内 容	件 数	備 考
事業所等訪問件数	21	
〃 来所件数	13	
観光展等出展件数	6	
ツアー造成件数	0	
ぐんまちゃん 活動延べ日数	0	ぐんまちゃんの出動は、現在休止中。

(3) 今後に向けた課題と方策

① ツアー造成について

ゼロコロナ政策が終了し、人的往来が回復しつつあるため、ツアー造成に引き続き注力する。

② 2024年度に向けた考え方

- ・中国の旅行会社との関係を維持するため、相互訪問や情報交換を継続的に実施する。
- ・東京から近いという群馬の立地が知られていないため、そのアクセスの良さを訴えつつ、近年人気が高まっているキャンプの情報等も発信しながら、群馬の魅力をPRする。

3 県産品販路拡大

(1) 現状

中国では、価格が高いことは必ずしも販路拡大の妨げにならず、むしろ高所得者層が多いため価格が高くても良いものはほぼ確実に売れる、という市場の特徴がある。

従って、価格以外の要素として、高所得者層に訴えかける商品のストーリー性が重要になる。例えば高崎だるまについては、だるまの起源、眉が鶴で髭が亀を表しているというデザインの特徴、願掛け時の目入れの方法などのストーリーを、しっかりと市場に訴求しながら販路拡大に取り組む必要がある。

逆に、ストーリーを描きにくい県産品については、営業活動においても売り込みが困難であり、販路拡大のハードルは高い。

また上海では、昨今の経済状況を反映して、実店舗を閉店してオンラインストアにシフトするケースが増加している。

従って、今後は「淘宝」のようなネット通販サイトに出展している業者への売り込みも並行して行っていく必要がある。

(2) 個別の業務内容

① 現地企業の紹介

県内事業者へ、取扱商品に関心のありそうな現地商社・店舗を紹介した。

商談成立には至っていないが、はるな陶芸工房の陶芸作品や卯三郎こけしの創作こけしなどは、取り扱いに関心を示している現地店舗等があることから、今後も働きかけを継続する。

また、中国進出や販路拡大を検討する県内企業等を対象として、JETRO 及び地元地銀と合同で「中国オンラインセミナー 経済の最新動向/越境 EC」を開催した。



「伝統工芸青山 SQUARE 中国・重慶店」での
卯三郎こけしプロモーションイベント

②輸入事業者等との関係構築

本県食品の輸入禁止措置の解禁に備えて、現地の輸入事業者等との関係構築を継続した。

【県産品販路拡大活動実績】

内 容	件 数	備 考
事業所等訪問件数	29	貿易、小売等企業関係者
" 来所件数	22	
物産展等出展	2	
商談件数	4	県内進出企業、県内企業
照会件数	2	
取引に結びついた件数	1	

(3) 今後に向けた課題と方策

本県食品の輸入禁止措置について、台湾は昨年2月に解除されたものの、中国本土については未だ見通しが立っていない。

解除後にすぐに対応をとれるよう、情報収集と事業者との関係づくりを継続する。

4 県内企業のビジネス展開支援

(1) 現状

ここ数年、中国進出に関する企業からの照会等の実績はなく、また報道によると、昨年度に敢行された新型コロナウイルス感染症封じ込めのためのロックダウン（都市封鎖）により、中国への新規進出の機運はこれまでになく低くなっている。

当面は、新型コロナの影響により中断していた県内からの進出企業訪問を定期的実施して、情報収集及び意見交換を進める取組を継続する。

(2) 個別の業務内容

①県内からの進出企業の直接支援

実績なし。

②県内からの進出企業との意見交換

地元地銀と合同で県内進出企業を訪問した。

<訪問先企業>

◆湖北省武漢市

武漢三恵敏実自動車零部件有限公司（三恵技研工業株）

武漢愛機汽车配件有限公司（株エイチワン）

◆重慶市

三電（中国）汽車空調有限公司（サンデン株）

◆大連市

大連愛麗絲鈕扣有限公司（株アイリス）

三葉電器（大連）有限公司（株ミツバ）

③中国企業の紹介

実績なし。

④群馬県人会での情報交換

上海群馬県人会（上州からっ風会）において、県内企業関係者や県出身者等と情報交換を行った。

【ビジネス展開支援活動実績】

内 容	件 数	備 考
事業所等訪問件数	4	県内進出企業、県内企業、関連企業
〃 来所件数	3	
相談・情報提供件数		
県等からの案件	0	
企業からの直接案件	0	
商談件数		
県等からの案件	0	
企業からの直接案件	0	
取引に結びついた件数	0	

(3) 今後に向けた課題と方策

地元地銀と連携して企業訪問を継続し、情報収集及び意見交換を行う。

また、引き続き現地ネットワークを活かして、法律、会計、人材確保等、適切な情

報提供及び支援をしていく。

5 本県情報の発信

中国では、中国独自の SNS である微博（ウェイボ）や微信（ウェイシン／WeChat）の利用者が多いことから、これらを活用して頻繁に読者が興味を引きそうな情報を発信するとともに、フォロワー数を増やすため、プレゼントキャンペーンやイベント時の登録呼びかけ等を実施した。

また前述のとおり、特に若い女性に人気のある SNS・小紅書による情報発信も開始したことから、それぞれの SNS の特性を生かしながらさらに効果的な情報発信に取り組む。

【情報発信活動実績】

内 容	件 数	備 考
事務所ウェブサイト更新数	24	
微博更新数	252	
微信更新数	17	
ウェブサイトアクセス数	12,805	年間合計
微博ファン数	58,071	前年比－ 420
微信ファン数	10,063	前年比＋ 1,536
その他情報発信回数	0	
マスメディア等への露出回数	1	

6 友好交流事業等

（１）中国地方政府との交流推進

新型コロナの影響がなくなったため、多くの地方政府から会議やフォーラム等の招聘を受けた。

人脈開拓の観点からも、可能なものにはできる限り参加した。

<実績>

- ◆第19回日中地域間交流推進セミナー（成都市・5月）
- ◆江蘇省江陰市訪問（藤岡市の友好交流都市・6月）
- ◆2023RCEP地方政府・友好都市協力(黄山)フォーラム（安徽省黄山市・6月）
- ◆走進青島 ～日本自治体の中国駐在代表青島市へようこそ～
（山東省青島市・8月）
- ◆第3回北東アジア地域協力円卓会議（吉林省長春市・8月）
- ◆第14回中国・北東アジア博覧会開幕式（ 〃 ）
- ◆国際商協会大会（安徽省合肥市・9月）
- ◆中国（貴州）国際酒類博覧会（貴州省貴陽市・9月）

- ◆普陀区現地視察会（上海市・9月）
- ◆2023 中日韓産業協力発展フォーラム・第9回中日韓産業博覧会
（山東省濰坊市・10月）
- ◆医療機器関連企業向け金山視察交流イベント（上海市・10月）
- ◆第4回江陰発展大会・2023 経貿商談会（江蘇省江陰市・10月）
- ◆金山区バイオ企業・食品企業視察ツアー（上海市・11月）
- ◆2023 中国国際黄酒産業博覧会・第29回紹興黄酒節開幕式
（浙江省紹興市・11月）

（2）民間団体との交流推進

日本への留学経験がある中国人らによる「南翔中日早朝文化活動」や「一期一会の会」等、民間団体主催のイベント等に積極的に参加し、本県の PR をして交流を深めた。

いずれの活動においても、教育や医療、食品流通、旅行業など、事務所の業務にとって有益な人脈づくりに繋がっている。

（3）その他

江蘇省蘇州市相城区外事弁公室主催の「2023 年度『こどもが描く我が故郷』国際青少年絵手紙交流イベント」に関し、県内の市町村に参加を呼びかけた結果、大田市の中学生から32点の作品の応募があった。

■事務所概要

名 称 群馬県上海事務所

（登記上の正式名称：日本公益財団法人 群馬県産業支援機構上海代表処）

所在地 〒200336

中国上海市長寧区延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 2410 室

TEL +86-21-5290-6218 FAX +86-21-5290-6905

E-mail gunma.pref@gunmash.cn

職 員 3名（日本人2名、中国人1名）

所 長 土橋 徹

副所長 中野 亜希子

秘 書 鄒 艷苗

